

エコ・ファーストの約束

ユニーは2008年に、環境への取り組みにおける小売事業のトップランナーとして、環境大臣とエコ・ファーストの約束を交わしました。消費者や生産者、地域行政と一緒に環境問題解決に取り組み、持続可能な社会構築を推進することを約束しています。特に食品廃棄物に関わる問題や地球温暖化対策など、エコライフスタイルを提案し推進することがユニーのエコ・ファーストです。

エコ・ファーストの約束と環境活動

◆廃棄物の発生抑制と資源循環の推進

循環型社会を実現するためには、廃棄物の発生原因を特定し、発生抑制を図ることにより削減し、それでも排出してしまった廃棄物を再資源化して再生利用を推進しなければなりません。

近年食品廃棄は大きな社会的な問題になりました。ユニーは発生抑制に努めると共に、未利用食品の再生利用を図るために、地域循環である食品リサイクルループを構築しています。



循環型農業体験

◆消費者の行動変革による持続可能な社会構築

2015年から環境省が進める「COOL CHOICE」をお買い物を通して消費者に実践していただくために、環境配慮商品やリサイクルボックス、自動車の充電器には「COOL CHOICE」の表示をして、消費者の認知度向上に努めています。2016年からは、さらに視野を広げ、SDGsをお買い物を通して知っていただき、実践していただく啓発活動を社内外で推進しています。



SDGsの認知度向上を図る

◆エコ・ファースト推進協議会活動

さまざまな業界から選ばれたエコ・ファースト企業が集まり、業界を越えて持続可能な社会構築を目指して、2009年にエコ・ファースト推進協議会を発足させました。総会には環境大臣も出席され、COP21パリ協定で日本が提示したCO₂削減に対する取り組みを企業活動を通じ、消費者と一緒に進める活動を評価されました。



エコ・ファースト推進協議会総会 エコとわごコンクール

◆持続可能な社会構築のための環境教育を実施

ユニーは地域に根ざした小売事業者として、消費者や生産者、地域自治体、地元NPOと一緒に地域環境貢献活動を実施しています。さらに家庭でのエコライフスタイルを拡げるために、店舗や地域「お買い物で環境保全に貢献する」啓発活動を行っています。特に未来の地球環境を担う子ども達を対象に、環境学習を全店舗で実施しました。



一般消費者への啓発活動

◆エコ・ファースト企業とのコラボレーション

総合小売店として唯一エコ・ファースト企業に認定されているユニーは、メーカーと消費者を繋いで環境貢献を推進する役割を果たすために、ライオン・キリンと共同で体験型環境イベントを開催しました。環境啓発イベント「エコ博」にも出展し各企業の環境への取り組みをPRすることで、消費者への認知度を高めました。2017年の母の日には、ブラザー工業と共同で「マイバッグプレゼント企画」を開催しました。



キリン・ライオン共同企画



ブラザーとの共同企画/母の日のマイバッグ

◆エコ・ファーストの約束の進捗状況

	2016年度目標	2016年度の現況	判定	参照	
1 循環型社会構築を目指し、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進します。	●食品リサイクルループを全店に拡大します。	150店舗	食品リサイクルループ参加店舗 140店舗(205店舗中)	×	P.27
	●再生利用等実施率を2018年までに80%達成します。	72.9%	再生利用実施率 74.9%	○	P.26
	●食品廃棄物発生抑制を図り、2018年までに年間売上高百万円当りの発生量32kg以下を達成します。	31kg	年間売上高百万円当たり 30.4kg	○	P.26
	●2018年までにレジ袋辞退率85%達成します。	85%	辞退率 86.1%	○	P.21
	●小型家電のリサイクル回収を推進します。		小型家電回収店舗 13店舗	○	P.19
2 持続可能な社会構築のために、環境教育を実施します。	●子ども環境学習を全店で、年間1万人の子ども達に環境教育を実施します。	1万人	エコロお店探検隊 97回実施(989人参加) エコラリー 118回実施(2,679人参加)、小中学校見学 95回実施(6,350人参加)	○	P.32
	●消費者の行動変革による持続可能な社会実現のために、店舗で5万人の消費者に環境イベントによる啓発活動を実施します。	5万人	エコ博 10回(5万人参加) エコフェスタ、その他 5回開催(5,000人参加)	○	P.45~46
	●店舗での省エネ・地域での資源循環を目指し、年間3万人の従業員に環境教育を実施します。	2万人	ISO14001取得 99店舗 19,800人に教育実施	△	P.9~10
3 消費者の行動変革による、持続可能な社会を構築します。	●環境配慮商品を開発・販売し、消費者にお買い物を通してエコライフスタイルを啓発し、地球温暖化防止を推進します。		環境配慮商品eco!onを大学生とコラボでプロモーション	○	P.15~16
	●環境配慮型PB商品の容器包装を見直し、バイオマスプラスチックの活用や、軽量化を図ります。		PB商品の容器包装削減実施 NPOごみじやばんと減装ショッピングで消費者に啓発	○	P.22
	●店舗開発において、スマートシティを研究・導入を図ります。		店舗業務副店長に省エネ教育実施	○	P.19
	●地球温暖化防止を目指したEV・PHV普及のため、充電器を大型店舗100店舗以上に設置します。	70店舗	充電スタンド設置店舗 52店舗 72台	×	P.14

新しい「エコ・ファーストの約束」



エコ・ファーストの約束



～環境先進企業として持続可能な社会構築の取組～

2014年6月18日

環境大臣 石原 伸晃 殿

ユニー株式会社
代表取締役社長

佐古 則男

「未来の子ども達に美しい自然を残したい」

ユニー株式会社は、食品循環資源の再生利用等を推進すべき食品等の小売業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、持続可能な社会構築を目指し、「お買い物」を通して消費者と一緒に地域に根ざした環境活動を推進します。

1 循環型社会構築を目指し、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進します。

- 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。
 - ・地域のリサイクル事業者・農業者と連携し、地産地消の取り組みとなる食品リサイクルループを2018年度までに全店舗に拡大し、再生利用等実施率80%を達成します。
 - ・食品廃棄物の発生抑制を推進し、2018年までに、年間売上高（百万円）当りの食品廃棄物発生量を32kg以下を達成します。
- 容器包装廃棄物の発生抑制の取り組みとして、2018年度までにレジ袋の辞退率85%を達成します。
- 循環小型家電のリサイクル回収を実施し、限りある資源を有効に循環させます。

2 持続可能な社会（低炭素社会・循環型社会・自然共生社会）構築のために、環境教育を実施します。

- 次世代を担う子ども達に対して、お買い物を通して持続可能な社会を実現するために、学び、考え、行動する環境学習を全店舗において年間1万人の子ども達に実施します。
- 消費者の行動変革により持続可能な社会を構築するために、店舗で環境イベントを開催し、年間5万人以上の消費者にエコライフスタイルを啓発します。
- 店舗での省エネ・再生資源地域循環を目指し、自社の従業員及びテナント従業員年間3万人以上に環境教育を実施し、廃棄物削減・リサイクルを推進します。
- 当社と取引のある環境関連事業者（廃棄物・リサイクル関連等）に、法令遵守・循環型社会構築のための環境教育を実施します。

3 消費者の行動変革による、持続可能な社会を構築します。

- 環境配慮商品やサービスを、開発・提供することにより、お買い物を通して地球温暖化防止を目指したライフスタイルを推進します。
 - ・環境配慮PB商品の容器包装を環境設計し、バイオマスプラスチック製容器包装の拡大、また20%の商品の容器包装でトップクラスのリデュースを実施します。
- 地球温暖化防止を目指し、スマートシティを研究し導入を図ります。
- 電気自動車の普及推進のために、大型ショッピングセンター100店舗以上に充電設備を設置します。



ユニー株式会社は、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

